



Hãf a A d a i

令和3年8月17日
グアム日本人学校
学校だより
9月号

夏休みが終わりました。2学期のスタートです。

3週間ほどの夏休みでしたが、子どもたちはどのような生活、あるいは体験をしたのでしょうか。コロナの関係で、なかなか自由に動けなかったといわれるご家庭も多かったかもしれません。本来ならば、ご家族との通常より長い時間を過ごしたり、友人や地域の方々との触れ合いを楽しんだり、学校授業期間では体験できない事を学ぶ機会が多いものです。コロナ禍の制限された生活の中であっても、きっと、子どもたちは少なからず成長しているものと期待しています。



さて、2学期は、「理想とするグアム日本人学校像」を目指して、本校も一歩前に進みたいと考えております。4つの柱の一つが、日本語支援です。日本語が十分に理解できないために、授業の内容が分からず、普通の学校生活にも困難が多い子どもたちが本校には在籍していますし、今後も入ってくる事が予想されます。日本語、日本の教育課程、日本文化を学びたいとして入ってくる子どもたちです。日本文化の発信拠点でありますグアム日本人学校では、できるだけ受け入れたいと考えております。勿論、すでに日本語が理解できる子どもたちは、一層の学力向上を目指します。現地の高校に進学していく子どもたちが多いという本校の傾向がありながら、日本の学校へ進学したいという子どもたちの希望に対応し、日本人学校の生徒数も増やしたい本校の思いを込めながら、職員一同、教育活動に邁進して参ります。

日本語支援としては、日本語指導専門の先生に授業をしてもらいます。小中全学年において、日本語に困難をもつ子どもたちに対して丁寧な指導を行ってまいります。本日配布の「お知らせ」をご覧ください。

また、英語指導の一つとして、週1回の裁量の時間を利用して、ネイティブの先生方に英語で算数・数学の復習をしていただきます。これは、現地校の算数・数学に少しでも慣れてもらおうという意図からです。後日配布予定の「お知らせ」で再びご連絡いたします。

一方、今学期は、スクールパフォーマンスや日本人会の秋祭りが控えております。前者は、子どもたちが文化的能力を伸ばし、発揮するチャンスであり、後者は、日本文化を体験し、グアムの人たちにそれらを紹介する大きな機会です。本校の使命の一つとして、しっかり取り組みたいと考えております。

東京オリンピックについて



7月21日(水)から8月8日(日)まで東京オリンピックが開催され、テレビで声援を送られた方は多かったと思います。コロナ禍における開催とあって賛否両論が飛び交いましたが、開催に踏み切ったのも致し方ないのかなと私は思います。

そのような中、オリンピック選手たちが口にした言葉には、やはり胸に染みるものがありました。「つらいことを5年間耐えて頑張ってきた」、「選手みんなの力、応援していただいた方々の力があってこそそのメダルであり、心から感謝したい」、「オリンピックに出られなかった仲間のためにも頑張った」など、感情を抑えきれずに話す姿に感動いたしました。

新しい先生のご紹介

2学期より、新しい先生が赴任されます。前述しました日本語指導の先生です。昨年度まで本校に在籍されていた方です。名前は、「稲垣萌子」先生です。よろしく願いいたします。